

北新小学校における多忙化改善への取組

2018/06

1 目的

教員が、子ども一人一人と向き合う時間を確保することにより、児童理解を深め、教育の質を高める。

2 内容

① 会議等の効率化

- ・会議資料の事前配布を行い、提案の効率化を図る。
- ・議事ごとに提案・協議時間を決め、定刻終了を目指す。

② 学校行事の負担軽減

- ・必要以上に練習時間をかけていないか行事ごとに検討する。
- ・年度内における行事等の反省を早めに行い、年度内に改善方向を示す。

③ 校内組織の見直し

- ・分掌により副主任を設ける。
- ・多忙化改善対策委員会を職員会議同日に設ける。
- ・校内組織の改廃が可能なもののリストアップ。

④ 業務の効率化

- ・一人一台パソコンの強みを生かした学校ファイルサーバの効率的な活用を図る。

⑤ 地域人材の活用

- ・外部講師の定期的な活用を計画する。
- ・外部人材を活用することで、児童一人一人へのきめ細やかな指導を目指す。

⑥ 多忙化解消への意識

- ・「きずなの日」の設定、施行とその意義の確認をする。